

栗ヶ窪チーム2年連続、通算3度目の優勝 ～第6回南九州市駅伝競走大会～



12月7日、市駅伝競走大会が開催され、快晴で絶好の駅伝日和のなか、19チームが参加しました。小学生から40歳代まで1チーム12人の選手が、今回から新コースとなった栗ヶ窪小学校から川辺文化会館までの19.8kmをタスキをつないで完走しました。大会コースの沿道では、多くの市民から一生懸命走る選手に「頑張れ、頑張れ」と熱い声援が送られていました。

成績については次の通りです。詳しくは、市ホームページで紹介しています。

総合の部	優勝	栗ヶ窪チーム	1時間07分15秒
	第2位	霜出チーム	1時間09分20秒
	第3位	御領チーム	1時間09分28秒
Bクラス	優勝	郡チーム	1時間13分37秒
Cクラス	優勝	浮辺チーム	1時間20分29秒
躍進賞	郡チーム	前回記録を1分22秒短縮	



▲栗ヶ窪小学校から小学生上学年19人が一斉にスタートしました。



▲見事1位でゴールした栗ヶ窪チームの湯田俊介くん。

第27回かわなべ磨崖仏まつり 開催 ～玉入れ合戦史上最速のチーム現る～

11月9日、清水岩屋公園で第27回かわなべ磨崖仏まつりが開催されました。

メインイベントの「玉入れ合戦」では、川小オヤジモンスターズが初の20秒台を記録するなど、熱戦が繰り広げられました。仮装して参加したチームも多く、来場者と記念撮影をする姿も見られました。

また、相撲大会での手に汗握る戦いでは大きな歓声が沸き上がり、金箔押しなどの体験コーナーや地元特産品を扱ったグルメガーデンも多くの人で賑わっていました。



▲思い思いの衣装に身を包み、勢いよく玉を入れる参加者たち。



▲一般の部で優勝した川小オヤジモンスターズ。



▲幼児たちも大人顔負けの相撲をとっていました。

「玉入れ合戦」の結果

〈一般の部〉

- 第1位 川小 オヤジモンスターズ (29秒)
- 第2位 ヒーローズ (32秒)
- 第3位 川辺学習館 イクメンですね! (39秒)

〈レディースの部〉

- 第1位 Green madame (61秒)
- 第2位 ウォーリーを探さないで (85秒)
- 第3位 かせだ 5556会 (87秒)

〈小学生の部〉

- 第1位 川辺ミニバスケットボール少年団チームA (76秒)
- 第2位 川辺ミニバスケットボール少年団チームB (84秒)
- 第3位 川辺小オヨゲテル連合A (111秒)

〈仮装部門〉

- 第1位 焼肉同好会 ☆
- 第2位 かごしま新世界A
- 第3位 昼顔～平日ランチタイムのジューシーな妻たち…
たもいやんせ♡～

第53回農林水産祭 日本農林漁業振興会長賞受賞 ～農事組合法人 菊永茶生産組合～

知覧地区の37戸で構成する農事組合法人菊永茶生産組合（知覧町塩屋）が、過去1年間の農林水産祭参加行事で、農林水産大臣賞を受賞した509点の中から、蚕糸・地域特産部門において日本農林漁業振興会長賞を受賞しました。11月23日、東京都明治神宮会館において全国の優秀農林水産業者など500人余りが参加し、第53回農林水産祭式典の中で表彰されました。

菊永茶生産組合は、全国の茶業共同体モデルとして、時代の変化に柔軟に対応し、消費者需要の多様化や日本緑茶の輸出に対応した生産体系の実証工場として取り組んでいます。また、組合全員が茶専業農家で生活できる体制づくりを目標に掲げ、茶農家の生産組織では国内初のグローバルギャップ（国際的な食品安全の適正農業規範）の認証に向けて挑戦中です。今後、南九州市ひいては、日本茶業の先導役として益々の活躍が期待されます。

「農林水産祭」

農林水産祭事業は、国民の農林水産業と食に対する認識を深めるとともに、農林水産業者の技術改善と経営発展の意欲を高めるため、農林水産省と日本農林漁業振興会の共催により昭和37年から実施されているものです。



▲日本農林漁業振興会長賞を受賞された菊永明彦組合長（前列右から4人目）、菊永盛幸理事（後列右から4人目）。



▲農事組合法人 菊永茶生産組合の皆さん。

知覧トンネル貫通式 ～全長 1,135 メートル～

11月10日、「南薩縦貫道（知覧道路）」知覧トンネル（川辺町野崎から知覧町下郡までの全長1,135m）の貫通式が鹿児島県、南九州市、枕崎市、地元自治会、工事関係者ら約90人が出席し、貫通の儀、通り初めなどが行われました。霜出市長は「トンネルが完成し、全線が開通することにより、地域の活性化につながる」とあいさつしました。トンネルの工事完成は平成27年2月予定です。



▲知覧トンネルの貫通を祝い、通り初めが行われました。

▼新牧自治会の児童らにより、記念碑の除幕が行われました。



新牧 250 周年、種子尾 340 周年 ～発祥記念式典 開催～

11月2日、顚娃地域の新牧地区が発祥250年、種子尾地区が発祥340年の節目を迎え、あらためて自治会の絆を深めようと、記念式典が新牧小学校跡地で開催され、新牧自治会住民や県内外の出身者ら約300人が出席。式典では、先人への感謝・慰霊の気持ちを込め「とこしえに栄えあれ」と刻まれた記念碑の除幕式が行われ、その後、出席者全員で自治会の発展と安心・安全な地域づくりを誓いました。

★南・北交流給食 ～地元食材の郷土料理で交流～

交流協定を締結している北九州市と南九州市の親睦をさらに深めようと、それぞれの地元産の食材を使った郷土料理による交流給食が11月13日、14日に行われました。本市では北九州市産のタケノコを使った「筑前煮」と「いわしのぬかみそ炊き」、北九州市では南九州市産のさつまいもを使った「さつま汁」と「きびなごのかば焼き」が提供されました。



▲今回が2回目となった交流給食。大丸小学校では霜出市長と全児童とが一緒においしく食べました。

▼かがやき発表会で米・野菜の育て方や環境問題など、自分たちが学んだことを元気に発表する児童。



★第14回収穫祭 かがやきフェスタ ～育てた農作物で料理を振る舞う～

11月30日、高田小学校で「第14回収穫祭かがやきフェスタ」が開催されました。高田小学校では、高田村づくり委員会とともに「みんなで取り組む食と農」をテーマにした食農教育に取り組んでおり、児童らが種や苗から育てた野菜、米、大豆、さつまいもを使った料理を来場者に振る舞いました。また、その後児童らによるかがやき発表会も行われました。

▼知覧福祉センターで毎週2日、約3時間の練習を行う前田さんは、「全国大会で優勝できたのは、卓球仲間との練習の成果です」と話しました。



★サウンドテーブルテニスで優勝 ～全国障害者スポーツ大会・前田久男さん～

長崎県で11月1日から開催された全国障害者スポーツ大会において、知覧町の前田久男さんがサウンドテーブルテニス（視覚障害者卓球）の40歳以上部門で優勝しました。前田さんは全国大会の予選を兼ねた県大会で優勝し、その後の九州大会の団体戦でも活躍、鹿児島県を優勝に導きました。全国大会でもその勢いを維持して見事優勝しました。

★頤娃の未来を考える ～頤娃町三俣通り会 主催～

11月7日、えい中央温泉センターで三俣通り会による地域活性化講演会およびパネルディスカッションが頤娃地域の市民ら120人が参加して行われました。鹿児島大学の平井一臣教授が「地域の危機をどう考えるか、どう乗り切るか」と題しての講演後、「頤娃高校とまちの未来を考える」をテーマに5人のパネリストにより意見が述べられました。



▲総評で「まちの活性化には特効薬はないが、高校は地域にとって大きな存在であり、住民と学校が一体となって考えてほしい」との提言がありました。

あ かりの道標『ちらん灯彩路』 ～約9千個の灯ろうが通りを彩る～

11月15日、知覧武家屋敷通り一帯と近くの麓川沿いに竹や和紙で作られた約9千個の灯ろうがともされ、あたりは情緒ある幻想的な雰囲気になりました。矢櫃橋近くの水辺の灯りゾーンでは、「LOVE PEACE」、「ちらん灯彩路」などの文字がかたどられ、来場者は写真を撮ったり、灯りの路をゆっくりと歩く姿が見られました。また、武家屋敷庭園内も夜間開放され、昼間とは違う趣をかし出していました。



▲来場者の一人は「毎回来ているが、回を重ねるごとに趣向を凝らした灯りが見られるので楽しみ。来年もまた来たい」と話しました。

▼輪投げやボーリング、ビニール金魚すくいなどのゲームコーナーで子どもたちは楽しく遊んでいました。



南 九州市子どもまつり ～親子で一緒に楽しむ～

11月3日、市地域子育て支援センターつみき主催の南九州市子どもまつりが、額娃農業者トレーニングセンター前広場で開催され、200人を超える子どもたちが参加。ゲームコーナーや消防車・パトカー・白バイ乗車体験も行われ、普段乗ることのできない乗り物に子どもたちはとても喜んでいました。このほか額娃高校生による人形劇、薩南工業高校生による親子木工体験教室なども行われました。

▼橋之口さんは、「元気な子供たちの写真を被災地の集会所に掲示して励ましたい」と子どもたちの写真を撮って帰りました。



川 辺次世会、地元貢献 ～諏訪運動公園の階段を整備～

川辺地域の若手建設業者らでつくられている川辺次世会のメンバーが、11月27、28日、諏訪運動公園内にあるトイレ近くの階段の舗装や手すり、外灯などを設置しました。これは地元老人クラブから、通路が未舗装で夜間は暗いため整備してほしいとの要望を受け行ったものです。老人クラブ代表の井料伸幸さんは、「多くの公園利用者が安心して夜間も通れるようになり、感謝しています」と話しました。



▲要望のあった階段などを整備してくれた川辺次世会の方々。

被 災地のことを忘れない ～額娃幼稚園児ら 25kgのお芋を送る～

11月14日、東日本大震災による被災地で復興活動を行っているNPO法人「め組JAPAN」の橋之口みゆきさんが額娃幼稚園に来園し、園児と保護者らが11月7日にお芋を被災地へ送ったお礼と被災地の現況を報告してくれました。橋之口さんは「大震災から3年たった今でも家を無くした多くの方が仮設住宅に住んでいます。おいしいお芋をありがとうございました」と話しました。

平成26年 春・秋の叙勲、褒章受章者 ～長年にわたる功績をたたえ～

長年にわたる功績が認められた方へ平成26年における春(4月)および秋(11月)の叙勲、褒章が授与されました。市内で活躍され、受章された方を紹介します。

【秋の褒章】

おうじゅほうしょう
黄綬褒章

やまぐちともはる

山口友治さん
(知覧町東別府)



山口友治さんは、前鹿児島県茶生産協会会長や全国茶生産者団体連合会副会長など、これまで様々な役職を歴任され、本市はもとより全国、鹿児島県の茶業発展に大きく貢献されました。また、「時代を読み、地域と共に歩む」を経営理念に掲げ、機械化・低コスト生産、共同工場経営など先進的な取り組みで地域の模範として周辺農家への波及を図ってられました。

【春の叙勲】

ずいほうたんこうしょう
瑞宝単光章

よしむらしのぶ
吉村 忍さん
(顓娃町別府)



吉村忍さんは、昭和42年に石垣分団員として入団し、顓娃町消防団団長まで務めました。火災や災害時には常に先頭に立ち、適切機敏な指揮を執られ、被害を最小限に抑え、また、団員の育成指導や防災防火指導に努め、自主防災組織の定期訓練・初期消火の意識付けなど38年以上の永きにわたり、顓娃町消防団の発展に寄与し、住民の安心安全に大きく貢献されました。

【秋の叙勲】

ずいほうたんこうしょう
瑞宝単光章

たつの そうきち

辰野宗吉さん
(川辺町平山)



辰野宗吉さんは、昭和37年に川辺町消防団員として入団し、川辺町消防団副団長まで務めました。過去幾多の災害出動および火災発生時に、住民の生命、財産の保護にあたりとともに、日頃から住民への防火思想の啓発にも努め、消防団員の育成指導、各分団間の連携を執り、火災など災害の鎮圧防御、防火思想の普及、消防施設の整備に尽力し、住民の安心安全に大きく貢献されました。

【秋の叙勲】

ずいほうそうこうしょう
瑞宝双光章

あじさかいちさく
鰐坂一朔さん
(川辺町中山田)



鰐坂一朔さんは、昭和46年から郵政事業に奉職し、勝目郵便局長となり退職するまでの35年余りの永きにわたり地域住民が安心して利用できる郵便局の体制づくりに尽力されました。特定郵便局は地域に密着し、地域住民に支持されてこそ成り立つものであると確信し、積極的に地域の各種会議や催しに参加し、地域の郵政事業の発展のため大きく貢献されました。

[南九州市青少年健全育成キャッチフレーズ]

あいさつ・声かけで育む青少年健全育成・安心安全な地域づくり

「青少年育成の日」
毎月第3土曜日

「家庭の日」
毎月第3日曜日



ふるさと体験学級茶レンジ隊
「バスで巡るふるさとの歴史」清水磨崖仏群

長期休業中は、子どもたちが
地域で活動する時間が多くなり
ます。市民みんなで声かけを
しましょう。